

平成 30 年度 第 8 回ひがし野町内会役員会議事録

2018/11/11 書記 熊谷

開催日時：平成 30 年 11 月 11 日（日）10:00～11:00

開催場所：守谷小学校 コミュニティホール

【配布資料】

資料-1 「環境美化の日」告知の回覧用紙

資料-2 「学んで作って楽しく食べましょう」回覧用紙

議長：前瀧会長

欠席者：1-2 班、1-7 班、1-10 班、2-7 班、2-9 班

■議事内容（☆・・・決定事項、敬称略）

1. 冒頭挨拶（会長：前瀧）

（省略）

2. 連絡事項

① 各専門部会より活動報告（総務：久保田）

■ 交流部会

- 過去資料の確認を始めたところ。あわんとりについては過去 2 回実施しているが、その実績報告にスケジュール・予算組み等も記載されているため、これらを編集して今回版を作成していく。25 日の回覧でボランティアを募り次回役員会の後にキックオフを行う予定

■ 防災部会

- 守谷消防署南出張所にて打ち合わせを行った。
 - ⇒ 水消火器、濃煙大会、起震車（県一台のため、申請はするが結果はわからない。）、応急担架体験（参加者による）の 4 点の提案を頂いた。あわんとりのスケジュールと合わせて実施可能なものを依頼していきたい。
 - ⇒ あわんとりと同時開催である事と実施概要を 12 月 10 日の回覧で案内できるように準備していく予定。

■ 広報部会

- 防災倉庫の貸出についてホームページで貸出し一覧は出来ていたが、届出についてもホームページからダウンロードしてできるようになっている。
- 外部向け情報発信
 - ⇒ 本会議の後参集頂き、方向性等を議論・決定し次回役員会で内容を図りたい

② 名入りテント購入

- 今年度の予算に 15 万円計上している。昨年は実施しなかったため、今年は実施に向けて会計の方で見積り等実施中。予定しているあわんとり・防災イベントで町内の皆様にお披露目したい。

③ 動物病院建設要請

- 市役所の都市計画化のフリスペースで計6名で打合せを行った（要請側：3名、町内会：会長、役員2名）
 - 開業の経緯・背景をご説明頂いた後、町内会の意見をお伝えしたところご理解頂き、別検討されるとのこと

④ 防犯設置可否決定通知

- 別紙「防犯灯設置可否決定通知書」の通り（5箇所）

⑤ 環境美化活動のお知らせ

- 資料-1の通り。中止の場合は、前日の14時までに連絡する

⑥ 「学んで作って楽しく食べましょう」についての連絡（回覧資料あり）

- 資料-2の通り。食生活改善推進会主催のひがし野町内会の方を対象としたクッキングスクール
- 開催日：12月10日（土）
- 11月30日までに澤田さん宛てに申込み願います（先着20名、家族での参加可）

3. 協議事項

⑦ まちづくり協議会に対する市からの提案について（ハッピーひがし野 亘理さん）＜2回目＞

- 前回役員会で「地域福祉活動計画からまちづくり協議会への転換」として説明があったが引き続き今回改めて詳細説明と役員会の意見収集を行った（役員会での意見等は、ハッピーひがし野で纏めて頂く）次回も引き続き説明、意見収集を行う。

* 本説明での意見等の簡易議事録は、別途記載する（最終ページ） 2019年1月27日追記

【その他連絡等】

- ① 郷州沼崎線沿い花壇への花植えのお願い（環境：木川田）
 - ・ 詳細は資料-5の通り。
 - ・ 12月2日（日）環境美化の日、夏場と異なり開始時間が9時に戻ります。
 - ・ 担当割りりは各班とも事前に確認願います。

【次回（平成30年度 第8回）開催】

- (1) 日時：平成30年11月11日（日）10:30～
- (2) 場所：守谷小学校 コミュニティホール

(別添) まちづくり協議会に関する説明と意見交換(簡易議事録)

ひがし野町内会役員会にハッピーひがし野代表の亙理が出席し、まちづくり協議会に関して意見交換を行った。冒頭、広報紙 No. 20 と No. 21 で、7 年目に入っている地域福祉活動計画の中でのハッピーひがし野(守谷地区Dブロック)の位置づけについて説明した上で、以下資料の説明に入った。

資料1 まちづくり協議会概要(10/14 ひがし野町内会役員会で説明したが再度)

- P-1 将来を見据えた「地域づくり」の提案
- P-2 第6号「まちづくり協議会」通信
- P-3 地域福祉活動計画からまちづくり協議会への転換
- P-4 ハッピーひがし野におけるまちづくり協議会の案
(P-1、P-2:市報から抜粋)
(P-3、P-4:5/27 ひがし野地域連絡会議向けハッピーひがし野資料抜粋)

資料2 まちづくり協議会の課題分析とハッピーひがし野の実態(ハッピーひがし野資料として9/27 守谷地区実行委員会と9/30 ハッピーひがし野会議にて説明、10/14 ひがし野町内会役員会にて配布)

資料3 暮らしの中で「何故まちづくりが必要か?」(役員会向けに亙理が作成)

上記説明の際の追加コメント

- ・守谷地区はまちづくり協議会に関する意見が全くまとまっていない。
- ・ひがし野地区ではハッピーひがし野会議や皆さんと話す中で「市の言う通りにはならないよね」という意見が多い。
- ・市資料には書いていないが、業務効率向上によって費用削減するが市の狙い。
- ・資料2(ハッピーひがし野でのまちづくり活動の実態)を見ると、一部不足はあるものの実質的なまちづくり活動を行っていることがわかる。

<役員会出席者の質問・意見 ⇒ 亙理回答のパターンで記す>

1. ひがし野地区・守谷地区でのまちづくりへの理解がどれだけできているか疑問。
イメージ先行では?⇒まちづくりが簡単な話でないことは確か。あいさつ運動(知合いになる・仲良くなる)、花植え活動(隣近所の協力)がまちづくりの事例。
2. ここで何を決めればいいのか?⇒決めてもらう必要はなく、意見を得たい。特に資料3の2(1)、2(2)について意見を伺い、2月のひがし野地域連絡会議(代表者20人位)で決める。前瀧会長が出席されるので、12&1月の役員会で結論が出ればベスト。
3. 市の計画の一次資料はあるのか?⇒市のHPから入手できる。5月のひがし野地域連絡会議でもう少し詳細の資料で説明したが町内会員に回覧はされていない。
4. ハッピーひがし野会議での議事録にはその結果が載っているのか? 亙理さんの意見は分かったが、他の方の意見を知りたい。⇒今まで出た意見の最大公約数は以下の通りで、議事録に載せている。5月のひがし野地域連絡会議では、12月以降ヒアリングした結果も説明した。
 - ・「協議会」という名前ではなく「ハッピーひがし野」でいいのではないか。
 - ・市の課題(⑥⑨⑩⑪)をやろうという意見は出ていない。
 - ・①~⑤⑦⑧は今までの活動実績の範囲ならなんとかなるであろう。
 - ・現体制下では課題が広すぎて無理があるのでは。
 - ・一元化(窓口一本化)のためには、人材確保必要だが無理だろう。
(備考:資料2の記述から・・・①防犯・防災 ②健康・福祉 ③青少年育成 ④自然・環境 ⑤教育・文化 ⑥産業 ⑦親睦・交流、⑧広報 ⑨市への提案・支援依頼(一本化) ⑩市との各種調整(一本化) ⑪公共施設維持管理)

5. 守谷地区他ブロックの意見集約状況を知りたい。⇒A～E間で住民構成が大きく異なりニーズの違いがあるので、2～3に分けるのも一つの方向と私は考えているが、そこまでも話は進んでいない。他のブロックではネガティブ反応（そんなのやってられないといった）が多く意見がまとまっていない。
6. 守谷地区で一つの体制は無理だろうが、坂町の新規転入世帯のようなところとの連携は必要では？⇒話し合いの場が守谷地区ひとつなので、ここで意見が出尽くした段階で方向付けすることになる。
7. 28年度の計画がそのまま継続ではなく、改訂が必要では？⇒地域福祉活動計画では年ごとに見直している。例えばかつては10項目以上のテーマを掲げていたが、現在3項目に絞っている。ハッピーひがし野会議には実行部隊がいるわけではないので、各自治会に活動をお願いしている。
8. 他地区との連携がとれないので、動き出せないということか？⇒ハッピーひがし野会議では、方向としては「現在の活動を若干広げる程度」というところまできている。2月のひがし野地域連絡会議で決めたら、（取組む場合）来年度市には守谷地区内の一ブロック「ハッピーひがし野」して分割していくという説明になる可能性がある。
9. まちづくり協議会をやらないという選択肢もあるのか？⇒市には強制権はなく、住民が決めること。ただ、助成金が現在市全域で6百万あるが、協議会の場合は3倍（約18百万）の予算（案）がある。協議会を作らない場合は、従来の助成金枠は8年目（H31年度）までで以降は協議事項になっている。まちづくりは目に見えて効果が出るものではないので、何もやらない（＝助成金なし）ことで、目に見えて不利益が生じることはないのでは。ただし高齢者生活支援の課題では目に見える問題が出てくる。現状での比率的には低いが、問題が大きくなるのは10年後。
10. 助成金の話が初めて出てきたが、市の計画情報は意見を出す上で重要であり、正確な情報を出してほしい。情報を小出しにされては全体が見えず判断が難しい。⇒次回、市の動向（予算・依頼事項・メリット）を整理して説明する。
11. 亙理さんが本件に関与している理由は？⇒広報紙で報告してきた。（説明不足だったので追加：H24年度に地域福祉活動計画を担うハッピーひがし野と守谷地区実行委員会の代表に。H29年度に地域福祉活動計画をまちづくり協議会に変えるという市提案があり、検討・協議を主導。）
12. 行政が期待することは何か？⇒公式には業務の効率化。打合せの際コストカットの話が出ている。全て公助でというのは言い過ぎで、できることは地域がやれば費用効果は小さいが期待はできる。
13. 地区ごとに対応が異なる場合、かえって非効率では？⇒体制的に二重になる。
14. 市の目標が、コストカットであることは、はっきり言ってほしい。
15. 実行委員会の区分は地図だけで分けてないか？⇒（まちづくりでは）住民構成を考慮した分け方が必要であり、住民側が決めること。
16. （なし）⇒佐倉市と鶴ヶ島市の事例は、もともと市の提案のような「一本化」はしていない、他の市でも事例は見つからない。これからみて守谷市の計画は極端。この評価は市民協働高橋主査に出したが、具体的反応はなかった。11月に打診があった際に、市長に守谷地区として反対との意見を伝えたが、聞く耳持たずの感触。これらの結果は5月のひがし野地域連絡会議で説明している。これらを含めた過去・現状を整理して次回報告する。
17. 他地区の設立準備会が動いている？⇒準備会の議事録を市のHPで開示している。それを見ると、すべて市民協働高橋主査の作成で市主催の形になっているようだ。大野・大井沢は完全に市主導で、関係者と話したが、両方ともやる気なしとのコメントあり、会議は1回だけ。北守谷は自治会連合会があるのでまとめやすい。

以上

より良いひがし野の実現に向けてご意見・ご要望がありましたら、余白等を活用してご記入下さい。
各班長は役員会にて班内意見として説明致しますので、お手数ですが班名とお名前をご記入願います
(例：3丁目4班 ひがし野 太郎)